2027年２月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月９日

上 場 会 社 名	株式会社メディカル一光グループ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3353	URL	https://www.m-ikkou.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	南野　利久
問合せ先責任者	（役職名） 取締役 経理部長	（氏名）	小田　恭右　（TEL）059(226)1193
半期報告書提出予定日	2026年10月14日	配当支払開始予定日	2026年11月５日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有　（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年２月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年３月１日～2026年８月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年２月期中間期	28,255	4.9	1,250	9.1	821	10.4	1,135	29.0	850	27.5
2026年２月期中間期	26,935	18.8	1,145	△2.8	743	△10.2	880	3.2	666	△6.0

（注）包括利益　2027年２月期中間期　584百万円（△16.9%）　2026年２月期中間期　703百万円（　10.1%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年２月期中間期	225.77	―
2026年２月期中間期	177.23	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年２月期中間期	37,521	16,692	42.7
2026年２月期	37,576	16,338	41.7

（参考）自己資本　2027年２月期中間期　16,012百万円　　2026年２月期　15,684百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年２月期	―	60.00	―	60.00	120.00
2027年２月期	―	60.00			
2027年２月期(予想)			―	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年２月期の連結業績予想（2026年３月１日～2027年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	2.8	1,800	0.7	1,850	△0.5	1,300	2.0	345.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年２月期中間期	3,770,000株	2026年２月期	3,770,000株
②　期末自己株式数	2027年２月期中間期	4,365株	2026年２月期	4,121株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年２月期中間期	3,765,771株	2026年２月期中間期	3,762,578株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2026年３月１日～2026年８月31日)における我が国の経済は、中東情勢に起因する資源価格の上昇等を背景に、個人消費や住宅投資が伸び悩むなど、景気は一時的に足踏みがみられる状況にありましたが、企業収益は一定水準を維持しており、継続的な賃上げや政策の後押しを背景に、賃金上昇と物価上昇の好循環に向けた動きが続いております。また、医療・介護分野においては、高齢化の進展と生産年齢人口の減少を背景として、持続可能なサービス提供体制の構築が引き続き重要な課題となっております。

このような事業環境のもと、当社グループの各事業は公定価格を基本としているため、コスト上昇分を価格へ転嫁することが難しい事業特性があります。このため、事業規模の拡大および業務効率化を推進するとともに、収益基盤の強化に取り組んでおります。

その一環として当中間連結会計期間には、佐賀県で医薬品卸事業の事業譲受を行いました。今後もＭ＆Ａ等を活用し事業基盤のさらなる拡充を図ってまいります。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高28,255百万円(前年同期比4.9％増)、営業利益821百万円(前年同期比10.4％増)、経常利益1,135百万円(前年同期比29.0％増)、親会社株主に帰属する中間純利益は850百万円(前年同期比27.5％増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当中間連結会計期間の既存店舗の処方箋応需枚数は、前年同期比やや減少しました。また、全店ベースの処方箋枚数においても店舗数の減少により、減少しております。一方で、処方箋単価の上昇により売上高は僅かながら増収となりました。

この結果、売上高13,215百万円(前年同期比1.2％増)、営業利益610百万円(前年同期比7.2％減)となりました。なお、当中間期末における当社グループの調剤薬局は合計97店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、2025年８月に子会社化した株式会社サンライズヴィラ土浦の売上高、および利益が当中間連結会計期間を通して寄与したことにより、前年同期比増収、増益となりました。労務費・人件費は増加しておりますが、賃上げ補助金を営業外収益に計上しております。

この結果、売上高4,685百万円(前年同期比6.9％増)、営業利益44百万円(前年同期比212.6％増)となりました。なお、当中間期末における当社グループの介護関連施設および事業所数は、115施設・事業所（入居居室数：1,904室）となっております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2023年４月から続く原価率の上昇により厳しい経営環境が続いております。このような状況のなか、2025年５月以降に新たにグループに加わった３社の業績が寄与したことにより、売上高は前年同期比増加しました。これに伴い、営業利益も増益となりました。

この結果、売上高10,219百万円(前年同期比9.0％増)、営業利益148百万円(前年同期比66.3％増)となりました。(内部売上を含む売上高は10,886百万円となり、前年同期比で9.6％増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高135百万円(前年同期比12.2％増)、営業利益81百万円(前年同期比7.7％増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益371百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として675百万円を消去するとともに、全社における共通経費として64百万円を計上しております。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は37,521百万円となり、前連結会計年度末と比較して54百万円減少いたしました。

流動資産の合計は20,297百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,150百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,391百万円、売掛金が140百万円それぞれ増加したものの、流動資産のその他が331百万円減少したこと等によるものです。固定資産の合計は17,224百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,204百万円減少いたしました。これは主に、土地が40百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が209百万円、投資有価証券が426百万円、投資その他の資産のその他が581百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は20,829百万円となり、前連結会計年度末と比較して408百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が459百万円増加したものの、長期借入金（１年内返済予定を含む）が943百万円、固定負債のその他が105百万円、

それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は16,692百万円となり、前連結会計年度末と比較して354百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が624百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が267百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1,371百万円増加し7,121百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで2,440百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで67百万円増加したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで1,136百万円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,440百万円(前年同期比980百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,357百万円、減価償却費及びのれん償却額429百万円、売上債権の減少528百万円、仕入債務の増加449百万円があったものの、法人税等の支払255百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、67百万円(前年同期比1,054百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入974百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出646百万円、事業譲受による支出225百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1,136百万円(前年同期比2,148百万円の支出増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,143百万円、配当金の支払225百万円があったこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年２月期の業績予想につきましては、2026年４月６日公表の数値から変更はありません。当中間連結会計期間に公表しましたM&A等が業績に与える影響を含め、今後、業績予想の修正が必要と判断した際には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年２月28日)	当中間連結会計期間 (2026年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,121,536	7,512,555
受取手形	11,410	4,001
売掛金	8,361,680	8,502,545
商品	2,361,345	2,323,420
その他	2,300,691	1,969,191
貸倒引当金	△10,254	△14,681
流動資産合計	19,146,409	20,297,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,500,060	6,290,682
土地	3,847,313	3,887,644
その他（純額）	558,722	529,776
有形固定資産合計	10,906,096	10,708,102
無形固定資産		
のれん	774,657	794,525
その他	162,630	151,211
無形固定資産合計	937,288	945,736
投資その他の資産		
投資有価証券	3,398,068	2,971,705
敷金及び保証金	1,052,460	1,045,284
その他	2,135,794	1,554,121
投資その他の資産合計	6,586,324	5,571,111
固定資産合計	18,429,708	17,224,951
資産合計	37,576,117	37,521,984
負債の部		
流動負債		
支払手形	994	－
買掛金	5,755,710	6,214,892
電子記録債務	674,767	658,167
短期借入金	530,000	580,000
1年内償還予定の社債	－	150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,281,353	2,063,817
未払法人税等	374,104	518,290
賞与引当金	307,236	351,096
その他	1,693,506	1,648,104
流動負債合計	11,617,672	12,184,369
固定負債		
社債	150,000	－
長期借入金	7,252,962	6,527,002
リース債務	150,105	138,634
退職給付に係る負債	1,086,186	1,103,987
その他	980,672	875,312
固定負債合計	9,619,926	8,644,936
負債合計	21,237,598	20,829,306

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年２月28日）	当中間連結会計期間 （2026年８月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,064,347	1,064,347
利益剰余金	12,797,102	13,421,373
自己株式	△7,129	△7,221
株主資本合計	14,771,321	15,395,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855,590	587,602
退職給付に係る調整累計額	57,907	28,953
その他の包括利益累計額合計	913,497	616,555
非支配株主持分	653,700	680,621
純資産合計	16,338,518	16,692,677
負債純資産合計	37,576,117	37,521,984

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
売上高	26,935,485	28,255,589
売上原価	23,818,260	25,024,930
売上総利益	3,117,225	3,230,659
販売費及び一般管理費	2,373,603	2,409,654
営業利益	743,622	821,005
営業外収益		
受取利息	7,267	11,429
受取配当金	47,344	52,700
助成金収入	109,041	184,203
有価証券運用益	－	89,127
その他	44,237	65,646
営業外収益合計	207,892	403,107
営業外費用		
支払利息	46,227	62,944
有価証券運用損	3,816	－
その他	20,981	25,405
営業外費用合計	71,025	88,350
経常利益	880,488	1,135,761
特別利益		
固定資産売却益	4,682	129,531
投資有価証券売却益	199,869	371,010
負ののれん発生益	41,591	－
補助金収入	35,000	－
特別利益合計	281,143	500,542
特別損失		
固定資産売却損	－	994
固定資産除却損	783	2,133
減損損失	－	10,947
固定資産圧縮損	35,000	－
投資有価証券売却損	147	5
役員退職慰労金	2,050	－
賃貸借契約解約損	87,288	－
権利金損失	－	265,000
特別損失合計	125,270	279,081
税金等調整前中間純利益	1,036,361	1,357,222
法人税、住民税及び事業税	382,849	416,024
法人税等調整額	△37,729	59,994
法人税等合計	345,120	476,019
中間純利益	691,241	881,202
非支配株主に帰属する中間純利益	24,385	30,978
親会社株主に帰属する中間純利益	666,855	850,224

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
中間純利益	691,241	881,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,674	△268,022
退職給付に係る調整額	△1,841	△28,953
その他の包括利益合計	11,832	△296,975
中間包括利益	703,073	584,226
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	678,633	553,282
非支配株主に係る中間包括利益	24,440	30,944

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,036,361	1,357,222
減価償却費	342,801	363,339
減損損失	－	10,947
のれん償却額	59,460	66,132
賞与引当金の増減額（△は減少）	40,434	43,859
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2,454	△26,770
受取利息及び受取配当金	△54,612	△64,129
支払利息	46,227	62,944
投資有価証券売却損益（△は益）	△199,721	△371,004
固定資産売却損益（△は益）	△4,682	△128,536
固定資産除却損	783	2,133
賃貸借契約解約損	87,288	－
権利金損失	－	265,000
負ののれん発生益	△41,591	－
売上債権の増減額（△は増加）	△168,413	528,649
棚卸資産の増減額（△は増加）	△45,473	68,305
仕入債務の増減額（△は減少）	358,833	449,576
未払費用の増減額（△は減少）	216,781	△15,021
その他	261,502	87,961
小計	1,938,435	2,700,608
利息及び配当金の受取額	53,152	62,926
利息の支払額	△48,413	△67,097
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△482,946	△255,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,460,227	2,440,981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△271,992	△143,190
有形固定資産の売却による収入	6,162	－
無形固定資産の取得による支出	△16,253	△11,421
投資有価証券の取得による支出	△132,694	△646,922
投資有価証券の売却による収入	446,355	974,092
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,029,021	－
投資不動産の取得による支出	－	△81,230
事業譲受による支出	－	△225,621
敷金及び保証金の差入による支出	△5,515	△2,251
敷金及び保証金の回収による収入	60,787	10,427
権利金の返金による収入	－	265,000
その他	△45,172	△71,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△987,345	67,432

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000	50,000
長期借入れによる収入	2,560,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,333,769	△1,143,495
リース債務の返済による支出	△14,074	△13,264
自己株式の取得による支出	△125	△92
配当金の支払額	△150,469	△225,952
非支配株主への配当金の支払額	－	△4,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,011,562	△1,136,845
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,484,444	1,371,567
現金及び現金同等物の期首残高	6,639,453	5,749,790
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,123,897	7,121,358

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年３月１日　至　2025年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,056,304	4,381,841	9,376,885	120,455	26,935,485	－	26,935,485
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	300	555,048	5,471	560,819	△560,819	－
計	13,056,304	4,382,141	9,931,933	125,926	27,496,305	△560,819	26,935,485
セグメント利益	658,059	14,162	89,560	75,425	837,208	△93,585	743,622

（注）１　セグメント利益の調整額△93,585千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用646,558千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年３月１日　至　2026年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,215,715	4,685,219	10,219,472	135,182	28,255,589	－	28,255,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	600	666,781	8,615	675,997	△675,997	－
計	13,215,715	4,685,819	10,886,253	143,797	28,931,586	△675,997	28,255,589
セグメント利益	610,617	44,274	148,938	81,238	885,068	△64,063	821,005

（注）１　セグメント利益の調整額△64,063千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用509,176千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。